

協働デザインワーキンググループにおける検討結果

(第3回 岩手県における復興祈念公園基本計画検討調査有識者委員会 資料)

平成27年3月24日

(1) 検討の経緯

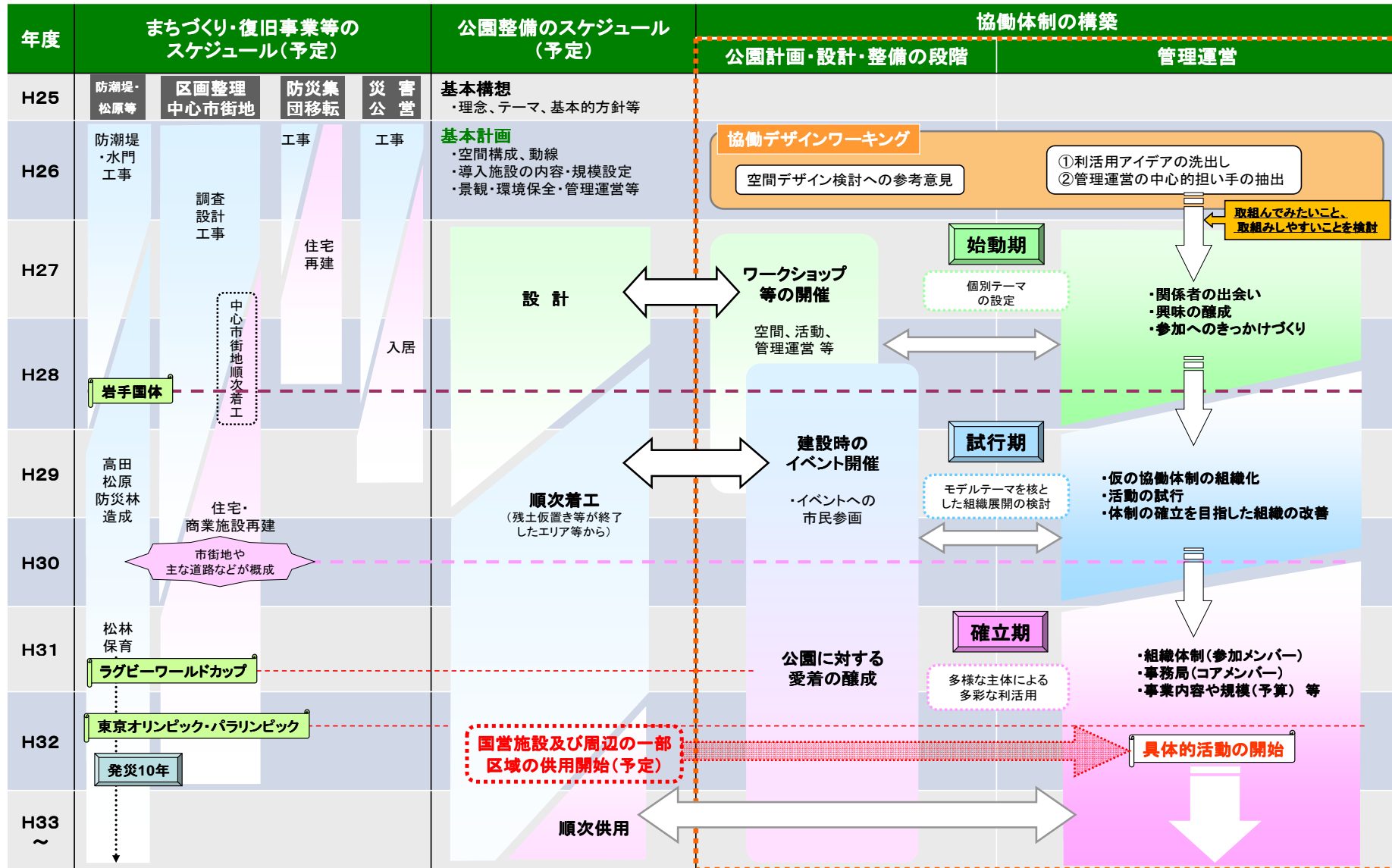
協働デザイン ワーキンググループ

○公園づくりへの地域、市民参加のあり方や方法についてアイデアをいただき、今後の展開の作戦を練る
 ○NPO、商工、観光、スポーツ等の分野で活躍する市民、有識者等（男性7名/女性2名）で構成



(2) 検討状況

1) 公園整備のスケジュールと協働の“しかけ”づくり

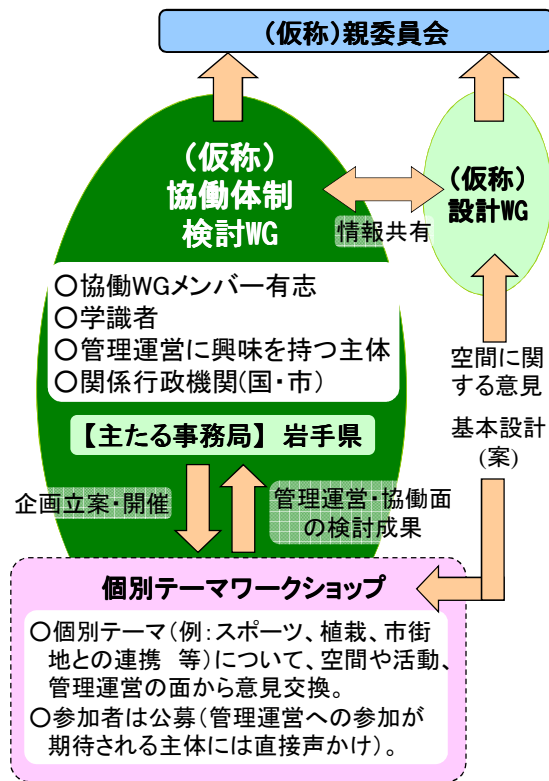


(2) 検討状況

2) 公園の供用開始までの段階的な協働のしくみづくり(イメージ)

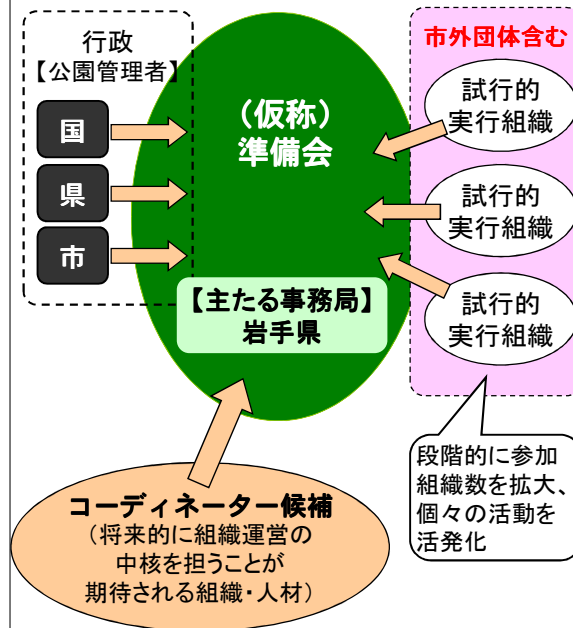
始動期：H27～28 “協働WG”の発展

- 現在の協働WGを中心に活動を展開させた「(仮称)協働体制検討WG」を設置。
- 参加者公募により個別具体の検討を行う「個別テーマワークショップ」の企画立案や、将来的な公園管理体制の構築に向けた検討等を行う。



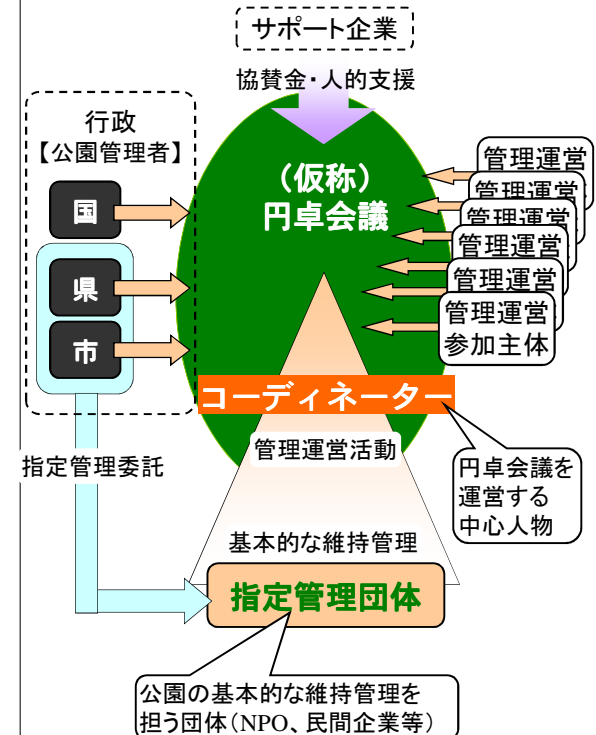
試行期：H29～30 “準備会”の設立

- 供用時の組織化に向け、具体的に公園の管理運営に参加することが期待できる「実験的組織」と「関係行政機関」が参加した「準備会」組織に発展。
- 将来的に組織運営の中心を担う人材についても、この段階から発掘、参加を促す。



確立期：H31～32 本格的組織の始動

- 供用後の公園の整備、管理、運営に関するさまざまな事項を協議・決定する場として「(仮称)円卓会議」を設立。
- 公園の維持管理や運営に直接的に参加・関与する行政機関、団体・市民等で構成。
- 公園の基本的維持管理を担う指定管理団体も参加



(3) 検討の総括（協働による管理運営の基本的方向性について）

協働による管理運営の基本的考え方

復興まちづくりと連携してにぎわいと交流をもたらす 持続的な公園づくり

○多くの来訪客が期待される本公園内の「奇跡の一本松」や「追悼・祈念施設(仮称)」や「道の駅」、中心市街地が一体となってにぎわいと交流を創出する。

○また、市街地側の取り組みとも連携し、公園完成後も継続的に新たな利活用を創出し、何度も行きたくなる、持続的な公園づくりを目指す。

地域コミュニティや市民と行政の絆の強化に 寄与する公園づくり

○公園の利用や、公園の管理運営活動への参加を通じて、震災後の地域コミュニティの絆を深め、さらには“ふるさと”に対する愛着の醸成を図る。

○同様に、本公園の管理運営活動を通じて、市民と行政、あるいは地域や世代を越えた連携や信頼関係を強化する。

計画・設計段階からの多様な主体と連携した 管理運営体制づくり

○公園の計画・設計段階から、市民や地域団体などが主体的に参加できるしくみをつくり、公園の供用開始時には多様な主体と連携・協働した管理運営体制を構築する。

○また、本公園の利用や管理運営を通じて、市民や地域団体のみならず、震災を契機に生まれた市外、さらには県外・国外の団体などとのつながりの継続・発展を目指す。

取り組みの方向性

① にぎわいの再生・愛着の醸成

- ◇地域が愛着を持てる、市街地と一体感と連続性のある公園づくり
- ◇公園、道の駅来訪客を中心市街地へ誘引できるしかけづくり
- ◇子供たちをのびのびと遊ばせることができる安全・安心な公園づくり

② 交流・もてなしの心が伝わる公園づくり

- ◇「復興支援への感謝」と「おもてなしの心」を伝えることができる人材との連携
- ◇県内はもとより、国内外からの来訪者と市民が交流できる仕組みづくり
- ◇インターネット等を活用したわかりやすい情報提供

③ 段階的な・継続した公園づくり

- ◇「松原公園」を知らない世代を作らないための段階的な供用開始
- ◇完成後も市民参加で日々アップデートできる公園づくり
- ◇何度も行きたくなるような、持続的な公園づくり
- ◇各種コミュニティ、団体等(市外含む)が協力・競争しつつ参画できる公園づくり

④ 公園づくりへの参加

- ◇ワークショップなど、計画・設計段階から公園づくりに参加できる場づくり
- ◇公園への関心や管理運営への参加を促すための整備計画の開示

⑤ 管理運営・参加体制

- ◇供用開始までの段階的な管理運営組織づくり
- ◇さまざまなNPOや市民団体等が一堂に会する“コンソーシアム”的な組織づくり
- ◇国内外からの公園利用者や利用団体等も主体的に参加できる組織づくり
- ◇行政以外が中心を担う管理運営組織(指定管理による維持管理含む)
- ◇公園の管理運営を通じた、市民と行政の信頼関係・協力関係の強化
- ◇管理運営の質の向上につながる“もうかる”事業の展開
- ◇利用者のニーズの変化に対応出来る柔軟な管理運営
- ◇植栽管理等の維持管理を体験イベントに仕立てることによる参加意欲の醸成